

# 水泳の競技力を向上

西川さんは長年にわたり県水泳連盟の要職を務め、本県の競技力向上に尽力した。競泳のほか飛び込み、シンクロ競技の普及にも貢献。「選手ファースト」を掲げ家庭環境や精神面にも目を向けた。

岩手大在学中に同連盟の当時の会長にスイミングスクールの指導者を依頼され、幼児や小学生に水泳の魅力を伝えた。卒業後は中学校の学校現場や県教委でスポーツによる障害を防ぐ指導を実践した。

県連盟会長  
西川勝夫さん(盛岡)



同連盟内に飛び込みやシンクロの組織も立ち上げ、認知度や「水泳は人生を明るく豊かにする」とほほ笑む。

競技環境の向上に努めた。現在も日本マスターズに出場して生涯現役を貫く。夢は「岩手県で国際大会を開催すること」と語り、「水泳は人生を明るく豊かにする」とほほ笑む。

水泳へのさらなる貢献を誓う西川勝夫さん